



水牛(鶏) 1979年

Shu Ogawara Exhibition For Dialogical Appreciation

おしゃべり美術館 対話鑑賞のススメ

2022.4.23 Sat ~ 7.10 Sun

小川原脩記念美術館 第2展示室

開館時間/9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日/毎週火曜日(但し5/31は開館)、5/9(月)、5/16-20(展示替え休館)

観覧料/一般500(400)円、高校生300(200)円、小中学生100(50)円

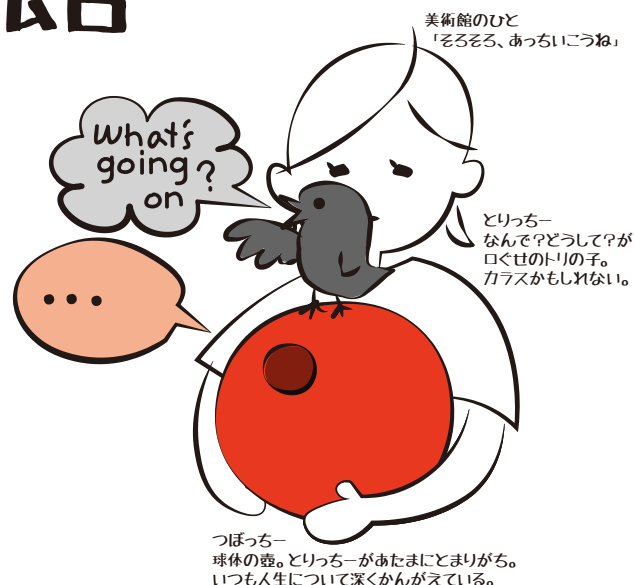
()内は10人以上の団体料金

小川原脩記念美術館

Shu Ogawara Museum of Art

〒044-0006 北海道虻田郡根知安町北6条東7丁目1 (0136-21-4141)

<http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/>



『美術館は静かに黙って作品鑑賞するところ』と思っていませんか？

でも、ちがいます。作品を見て感じたこと、考えたことなどを、いっしょに見ている人と共有することで、新しい気づきや価値観にふれることができるのです。小川原脩の作品を通して、いっしょに鑑賞している人たちとの対話、自分自身との対話、〈おしゃべり〉を楽しむ展覧会です！



親子での
美術館デビューにも
オススメ

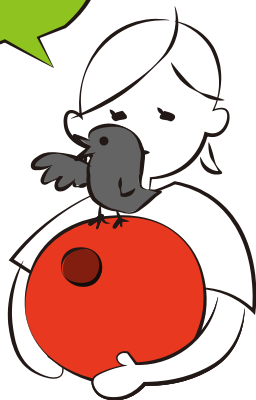


丘の上の犬たち 1979年

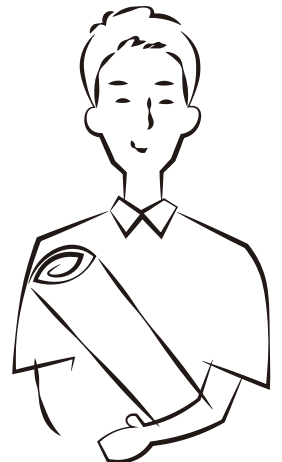


どうして
そうおもったの
かな？

そうだね



なにが
おきているの
かな？



いいね



小川原脩
1911-2002

北海道・倶知安町生まれ。東京美術学校(現・東京藝術大学)西洋画科卒業。

美術学校在学中に「納屋」(1933年)が帝展に入選。美術学校卒業後、福沢一郎らと出会い「エコール・ド・東京」「創紀美術協会」「美術文化協会」などの結成に参加。シュルレアリスム絵画への道を歩んだが、軍の規制が厳しくなり断念。後に、軍の命により戦争記録画を制作。

戦後は郷里・倶知安に戻り、岩船修三、木田金次郎らと「全道美術協会(全道展)」の創立に参加。

1958年、野本醇、因藤壽、穂井田日出磨らと「麓彩会」を創立。

1975年、北海道文化賞受賞。1994年、北海道開発功労賞、この年小川原脩画集を出版(共同文化社)。

倶知安町に定住してから60数年もの間、遙かなるイメージを求め続けた。70歳を目前にして訪れた中国、チベット、インドで創作への新境地を拓いた。

●同時開催●

小川原脩「遙かなるイメージ」

～2022年5月15日(日)

小川原脩展「私の中の原風景 part1」

2022年5月21日(土)～8月15日(月)



小川原脩記念美術館
Shu Ogawara Museum of Art

〒044-0006 北海道虻田郡倶知安町北6条東7丁目1 (0136-21-4141)
<http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/>